

第 21 回文の京景観賞受賞物件等一覧

【都市景観部門】

(敬称略)

名 称	智恵子が見た空
受賞者	安倍 章夫 (あべ あきお)
講 評	この通りは、蔵のある屋敷や旧安田邸など、千駄木の屋敷町としての歴史を感じることができます。電線も地中化され、見上げれば高村智恵子も見たであろう青空が広がる、風情ある景観が生まれています。

【景観づくり活動部門】

名 称	四季の彩りの花壇づくり
受賞団体	公園ガーデナー礫川公園 代表者 三島 敬子 (みしま けいこ) 榊原 達二 (さかきばら たつじ)
講 評	礫川公園の花壇を色とりどりの花々で飾るボランティア活動は、行き交う人々の心を和ませるとともに、文の京を彩る景観づくりに貢献しています。

【こども景観写真部門】

名 称	入口出口の門
受賞者	栗林 新 (くりばやし あらた)
講 評	この写真は、東京大学の正門が持つ堂々たる存在感をとらえています。アングルの工夫により、門の縦格子と通りの向こうに見える建物が重なり、斬新な構図が光る一枚といえるでしょう。

名 称	セミが鳴く坂
受賞者	平 将樹 (たいら まさき)
講 評	強い日差しがつくる明暗が夏の暑さを感じさせるとともに、緑深い樹々からはセミの鳴き声が聞こえてくるかのような写真です。文京区の景観特性でもある「坂」や「緑」の生き生きとした姿を的確にとらえています。